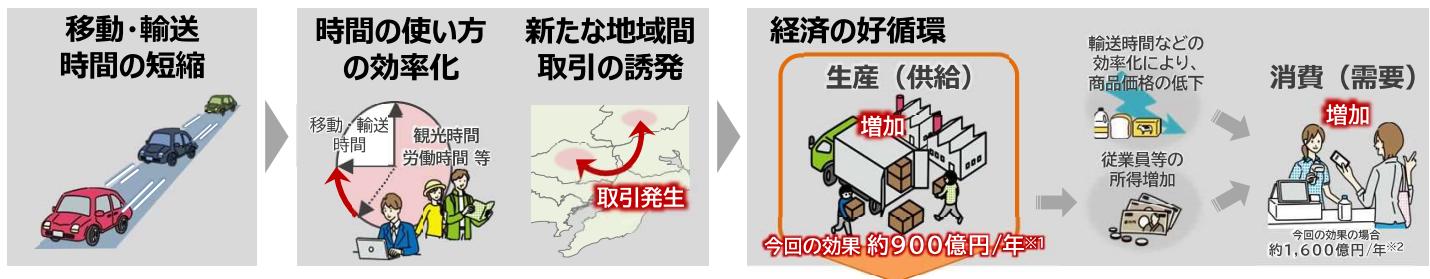


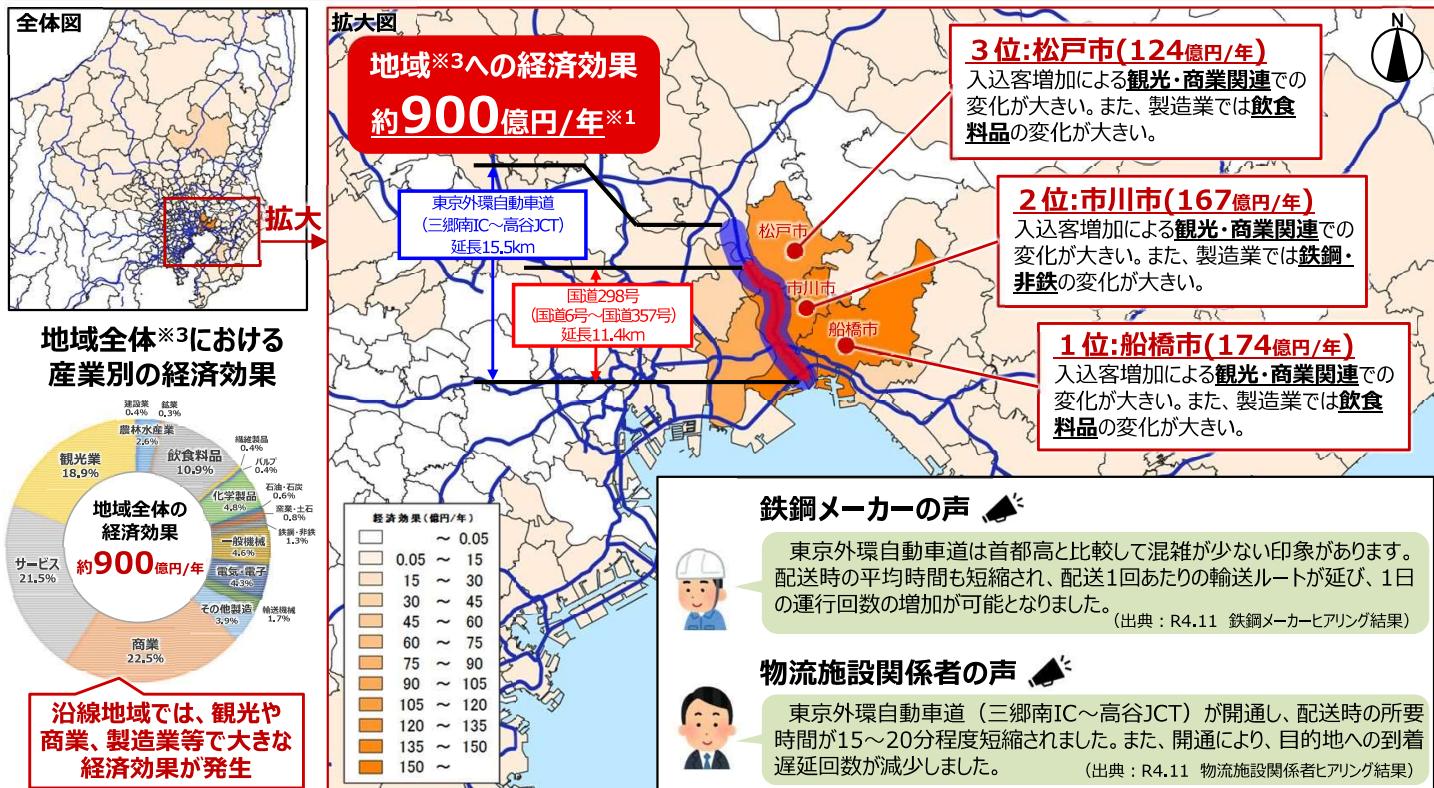
# 経済への効果

東京外かく環状道路（千葉区間）による経済効果<sup>※1</sup>は、沿線自治体を中心に地域<sup>※3</sup>へ毎年約900億円、今後3環状道路が完成すると、毎年約1.0兆円の経済効果が見込まれる

## 経済効果のイメージ



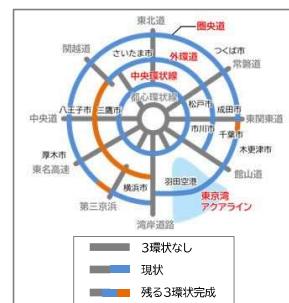
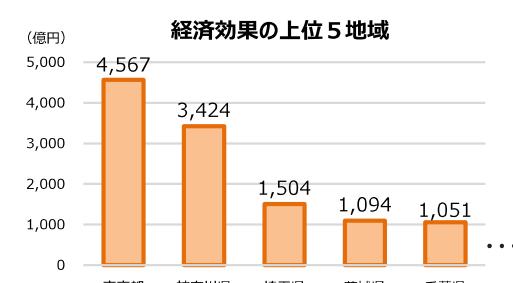
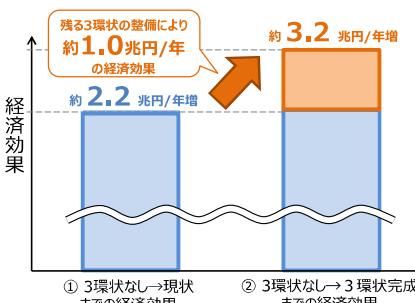
## 地域別の経済効果（生産活動）



## コラム～首都圏3環状道路の経済効果～

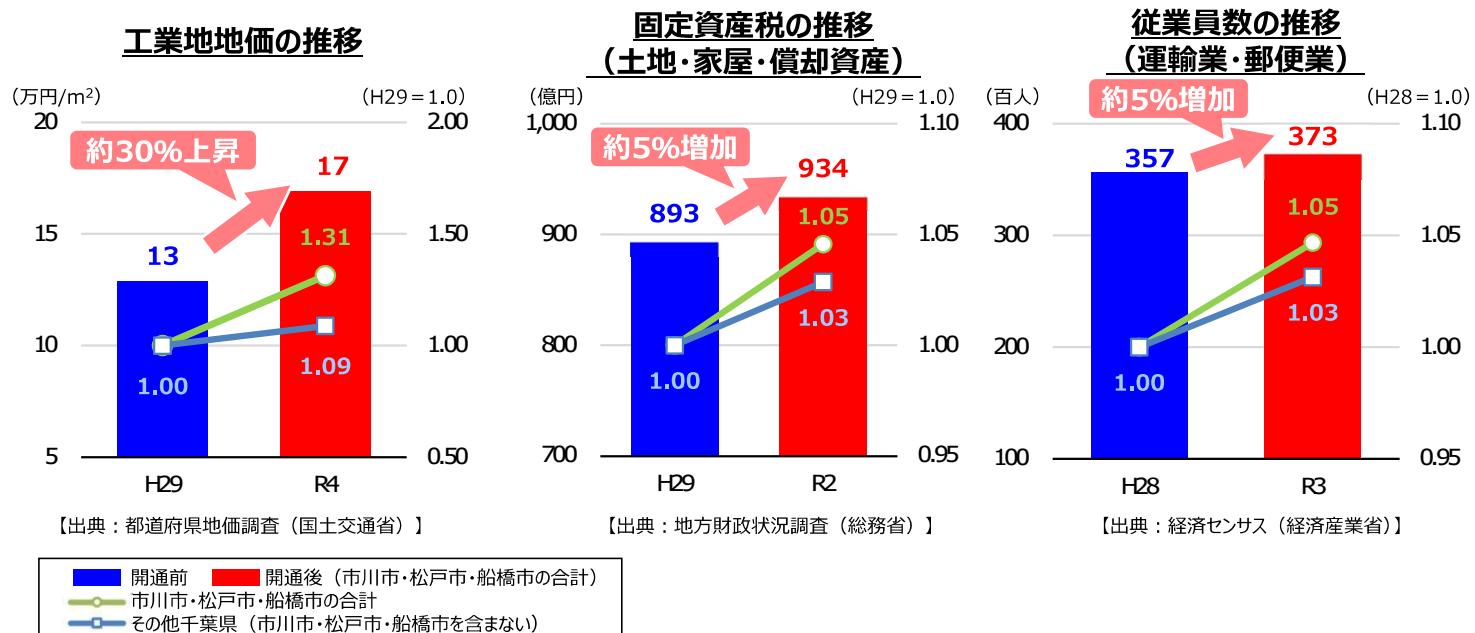
現状で未供用の首都圏3環状道路が完成することで、約1.0兆円/年の経済効果が生じる(帰着便益は約1.7兆円/年)。

都道府県別では、沿線地域となる東京都および神奈川県への効果が特に大きく、その他埼玉県や茨城県等広く効果が生じている。

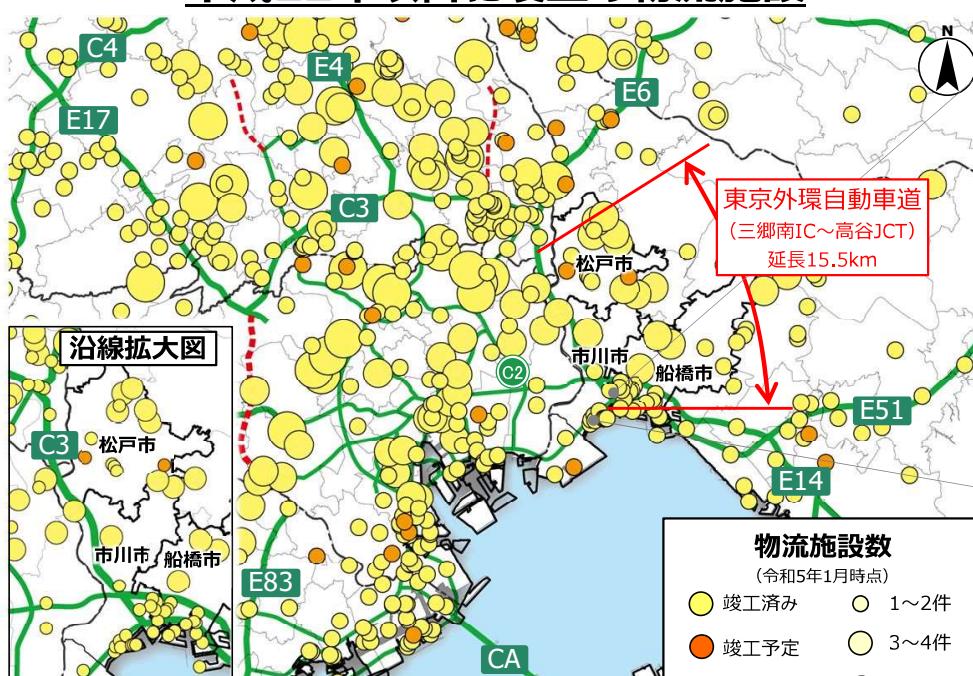


# 経済への効果

沿線自治体（市川市・松戸市・船橋市）で工業地地価が約30%上昇、固定資産税（土地・家屋・償却資産）、従業員数（運輸業・郵便業）が約5%増加  
東京外かく環状道路（千葉区間）の整備が企業の新規立地・開設に寄与



## 平成22年以降に竣工の物流施設



## 開通後に竣工した施設例



## 物流施設関係者の声



最近はラストワンマイル・即日配達等のニーズに応えることを視点とし、徐々に内陸側に進出しています。  
 東京外環自動車道（三郷南IC～高谷JCT）の開通により、湾岸エリアと内陸エリアの結びつきが強くなり、  
 物流施設を新たに立地するためのポテンシャルがとても高くなりました。

【出典：物流施設関係者ヒアリング結果（R4.11）】 3